

公共事業環境配慮実施報告書

建設部

砂防課

事業名称		達成状況の評価	
事業名	通常砂防事業	A	
整理番号	23-6	目標を完全に達成した。(達成割合100%)	
事業の種類	砂防堰堤の建設		
市町村名	南木曾町		
箇所名	沼田		
事業年度	平成22年度～令和2年度事業の令和2年度		
		配慮した項目 31 = 100%	
		配慮する全項目 31	
事業概要			
目的	岩戸沢の流域は、急峻な地形で多数の崩壊地があり、溪床には多数の巨石が存在している。大雨の際には、巨礫混じりの土砂が流出する可能性がある。砂防施設の設置により、下流域の人家13戸(学生寮含む)や避難所である沼田集会所、2級町道沼田線等の保全を図る。		
事業概要	砂防堰堤1基(岩戸沢堰堤H=13.5m L=101.0m) 取付護岸工(溪流保全工)L=139m 管理用道路工L=324m		
関連する事業計画	木曾川右岸道路		
その他特記事項	特になし		
関係法令等の規制			
自然環境保全地域等の指定状況	なし		
土地利用規制の状況	砂防法の砂防指定地		
その他	なし		
自然的環境要素	環境配慮の方針	環境配慮の実施内容 (環境配慮の方針と異なる場合はその理由)	
大気環境	【大気汚染の防止】		
	・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行はできる限り避ける。	・適正に実施	
	・土砂表層や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い、粉じんの飛散を防止する。	・適正に実施	
	・排出ガス対策型の車両や機械を使用する。	・適正に実施	
	【騒音、振動の防止】		
	・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働をできる限り避ける。	・適正に実施	
	・低騒音・低振動型の建設機械を使用する。	・適正に実施	
	・防音壁、防音シート、緩衝緑地帯等の遮音設備・吸音設備を設置し、騒音を低減する。	・適正に実施	
	水環境	【水質汚濁の防止】	
		・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。	・適正に実施
・水道水源、貴重な動植物分布地、取水地点、すでに汚染が著しい地域等への排水をできる限り避ける。		・適正に実施	
・工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。		・適正に実施	
【水循環の保全】			
・河川において、下流域の環境の保全のため、正常な流量を確保する。		・適正に実施	
地形・地質	【改変面積の最小化】		
	・地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。	・適正に実施	
	・段階的に工事を行い、広範な裸地の出現を防止する。	・適正に実施	
	・工事により裸地化する箇所は、早期の緑化を行い、表層土壌の侵食を防止する。	・適正に実施	
	・工事施工ヤードの設置は、必要最小限の面積とする。	・適正に実施	
	・工事により一時的に改変する自然環境の原形復旧に努める。	・適正に実施	
野生動植物	【野生動植物の生息・生育空間の保全】		
	・河川・水路に横断構造物を設置する場合は、水棲生物の自由な移動を確保する。	・適正に実施	
	・水際部を保全し、自然植生の連続性を確保する。	・適正に実施	
	・河川において、瀬や淵の保全又は創出を行う。	・適正に実施	
	・回避措置を基本とするが、それができない場合は、重要な植物を個体群の維持が可能な生育適地へ移植・播種する又は生育地を創出し移植・播種する。	・適正に実施	
	【地域独自の生物多様性の保全】		
	・工事予定地の表土を用いた覆土による植生回復や地域由来の在来植物を用いた緑化に努める。	・適正に実施	

	<p>【動植物への負担の少ない形状・素材の使用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落下した小動物が脱出できる側溝、透過型えん堤、多段式落差工、自然石空張護岸等動植物への負担の少ない構造を検討する。 ・自然石、自然素材、多自然型製品等動植物への負担の少ない素材を使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適正に実施 ・適正に実施
景観	<p>【すぐれた景観の保全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適正に実施
	<p>【良好な景観の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺地域の環境との調和に配慮した施設の配置・規模・形態・意匠・色彩・素材等を検討する。 ・樹木の伐採はできる限り避ける又は植樹等による緑化に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適正に実施 ・適正に実施
	<p>【自然とのふれあい空間の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊水施設やせせらぎ水路、池、親水護岸、階段や飛び石など水辺空間の整備に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適正に実施
自然とのふれあい	<p>【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適正に実施
	<p>【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適正に実施
	<p>【資源の有効利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然石、県産木材等環境に負担の少ない資材の使用を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適正に実施
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	<p>【環境への負担の少ない機械の利用等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。 ・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適正に実施 ・適正に実施